



刊日 發行所 印刷所 電話 本報社 電話 印刷所 電話

未熟なる梅に つきての注意 警戒病院 市原三三男

遂に死に至るか、急性にあつては電撃的に手當をする間も籍さず卒然死するもの

胃腸 専門 松村病院 梅毒 専門 松村病院

中野吳服店 特價品 手拭地 八十銭 白染緋 九十五銭

婦人洋傘 各種 電話百四十番

南部鐵瓶 爐力ギ 各種 精巧優美 阿康藥舖

階上食堂 美味評判 正札堂 通場車停町平

新舞子漁遊會々員募集 會費五拾錢 松崎自動車内 漁遊會事務所

高久病院 院長 醫學士 高久忠 副院長 新瀉醫學士 赤羽清忠

退痛散 特約店 大平屋藥店 阿部石炭商店

印半天專門 優秀品の証明 草野染工場 電話三四八番

諸君の意を諒ごし 解決の方途を講ず

同盟會代表の陳情に對し 伊東知事車中に語る

昨報の如く伊東知事は昨日午後四時泉驛着にて東京より來郡し小名濱築港視察後大瀧發電所問題の
根源たる好間川及び大瀧江筋を視察する事になつた爲め發電所反對同盟會側よりは
三森虎雄、馬目武之助、高橋龜松、川崎文治の四名が代表となり伊東知事を磯原驛迄出迎へし泉驛

利権屋と睨まれて居た 端山平銀支配人が

發電所反對の調印を求めて 夜半十二時迄活動

大瀧發電所許可反對同盟會にては昨夜七時より磐城銀行樓上にて役員會を開き山崎喜正氏を座長に押しして伊東知事の
來平を 機とし發電所反對の陳情を爲すべき協議を遂げたが席上に平銀行支配人端山正男氏在り「余は同問題に就いては利権屋の一派と睨まれ監獄に送行つて来た様な事情で私的感

記念切手 殆ど賣切れ

平局の約三千枚

萬國郵便聯合加盟五十周年の記念切手は二十日來平局でも發賣してゐるが發賣開始するや賣れ行き非常に良好にして同局に配付された一錢五厘千四百枚、三錢千



家庭欄

離乳のさせ方

人工養育の離乳のさせ方は大概六七ヶ月目に行ふがよいのでありますが、方法は母乳兒とは多少かへて、それは左の様な方法です

羽織袴の正装で 驛頭に並ぶ三百名

反對陳情書に調印 伊東知事を平驛に見送る

平水道水源地の視察を終了した伊東知事は本日午前十時五十分平驛發上り列車にて上京する事になつたので驛頭には二百数十名の反對同盟會員が羽織袴の正装にて見送りを爲し反對同盟會を代表して山崎喜正氏が行政衛生兩區長の一人名も洩れなく全部調印した發電所反對に関する陳情書及び消防組青年團、衛生會、醫師團等各團體よりの反對陳情書を一括して知事に手交し井上縣議、大森、阿部兩町議は途中迄見送り旁々同車室に乗り込み詳細なる陳情を爲す所あつたと

撒水車試験 各町を運轉

平消防組にては昨日來關内油槽所の運搬自動車を借り受け撒水装置を施して各町を運轉し目下試験中であるが同試験の結果に依り撒水自動車を實現して砂埃に苦しまれて居る平町の道路を濡す事になるであらう

三割の減收 病蚕の發生で

石城郡地方に於ける本年のが適當であります。
第一日 午前六時に牛乳九時に砂糖氣のない小型のビスケット一個に牛乳、晩牛乳夜牛乳第二日も同じ
第三日 正午に卵一個に出汁三合のかきたま汁五勺に牛乳五勺他は右に同じ第四日まで
第五日 正午にマツチ箱大の食パン(バタージャム蜂蜜つき)一片をかきたま汁

幼児助かる 磐城病院で手當

平町古鍛冶町小泉民治の三男光政(三)が嚥を咽喉に突き立て重傷を負へ上田醫院に搬送された事は既記の通りであるが折悪しく同醫院は他に手術あつて應急の方法を講じ難き旨であつた爲め磐城病院に至り手當を受けたが出血甚だしく痛く衰弱したに拘らず經過頗るよく全く一命を取り止める事が出来たと

關東評議會支部が 發電所反對を決議

労働者と無産者の味方 山代吉宗君語る

石城郡磐崎村小野田炭礦の飯場頭をやつて居た山代吉宗君の名は未だ世人の記憶に新らたな所であらう、即ち同君は警中を卒業し且つて健闘する事となり平町仲間町の一角に「關東評議會支部事務所」と云ふ無産者政治結社の看板を掛け忍かに世運を端視して居たが這般來大瀧發電所の設置計畫に關し
研究中の 所同發電

所計畫は獨り平町上水道に對し危害を蒙らしむるのみに止まらず内郷三萬の労働者及び入山炭礦労働者の飲料に供すべき大瀧江筋への悪影響甚だ看過し能はざるものありと爲し斷然同發電所に對し反對の意志を闡明する事となり過日の同支部

協議會に 於て大瀧發電所反對の決議を爲した

日本平驛頭にて山代君は語る「我々は斷然發電所に反對します、そして平町に於ける今迄の反對運動なるものは甚だ手緩しとの感があるので我々は別な方法に依つて反對運動に猛進すべく目下研究中であります

必ず我々の目的 は達成されるとの確信を以 つてマツシダラに進みます

縣立警城中學校の辯論大會は昨二十一日午前十一時より同校講堂に於て開催されたが辯士及び演題次の如く非常なる盛會裡に午後四時閉會した

辯論大會 昨廿一日同校で 辯士氏名と演題

開會の辭(本部委員渡邊豊)挨拶(本部長山崎光教)論(吾國民の進路)(一年渡邊清也)人の踏むべき道(矢島力)毒がす(岡野喜一)

募集 文藝其他投稿 を募集します

田健治)相手を動かす手紙の書き方(鈴木敏行)國家の興亡(大河内寅雄)我等の覺悟(鈴木憲治)少年の意氣(猪狩敏行)海外發展(高野吉雄)貯金(小東東一郎)外物を以て心となす(阿部傳)模倣は自殺なり(小坂貞一)奮闘と成功(楠正光)日新の世